

# 穂 学

平成30年度

広州日本人学校学校便り

[No. 3]

平成30年 6月20日(水)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

## 運動会・小学部修学旅行からの学び

校長 丸本 亙

今年の運動会は「切磋琢磨～仲間と共に立ち向かえ」のテーマのもと、素晴らしい運動会になりました。「切磋琢磨」とは、「お互いがしのぎを削り合い、磨き合って高めていこう」という意味ですが、あの炎天下の中、中学部と小学部が協力して力を存分に発揮し、高め合うことのできたとても温かい雰囲気のある運動会になったと思っています。

また、自分に与えられた係の仕事や応援団の活動に大変前向きに取り組んでいる人たちの姿も至る所で見られ、広州日本人学校の運動会を成功させようという意気込みを感じました。みんなの力が集うと言うことは本当に素晴らしいことですね。

勿論当日だけの頑張りではありません。当日に至るまでにいろいろな場所でいろいろな時間を使って、当日の短い時間のために、精一杯練習に取り組んできた成果が発揮されたからこそその素晴らしい充実した運動会になったのだと思います。日々の努力や練習は嘘をつきません。頑張った分だけ結果として表れます。運動会が終わり、着実に成長している広州日本人学校の児童生徒たち。今後もいろいろな場所で「切磋琢磨」し頑張っている姿を見るのがとても楽しみです。

6月13日から2泊3日で小学部6年生が西安に修学旅行に出かけました。事前に調べ学習をしっかりと行い、西安は昔長安と呼ばれ、日本の平城京や平安京の見本となった町であることを理解した上で見学に臨みました。見学場所では真剣に案内の方の説明を聞き、前向きに学習に取り組む姿が大変印象的でした。世界遺産でもある兵馬俑の見学の際には、一つ一つの表情の違いや大きさの違いに感心すると共に、その多さに圧倒されていました。日本にはなかなか見学することができない貴重な物を直に見ることができ、中国の歴史の奥深さや素晴らしさを肌で感じる事が出来たものと思います。3日間の修学旅行の中で、歴史を学ぶという「学習」は勿論のこと、仲間が集団で行動することの意義や仲間を思いやる心を十分に学ぶことができたと思っています。自分のことだけでなくグループのため、学級のため、学年のためにどう動いたら良いのかを考えながら動いている姿が数多く見られました。その点でも素晴らしい修学旅行になったと思っています。

第24回 広州日本人学校運動会 5月26日



西安修学旅行 6月13日~6月15日



【住所変更について】

住所変更については、担任に連絡後、ホームページを確認の上、バス入退会手続き専用メールアドレスへ、住所変更届けの送付をお願いします。ストップによっては残席数により、乗車できない可能性もありますので、ご承知おきください。